



11月！ポーポキが住む神戸では秋になると木々が紅葉します。とても素敵です。ポーポキは外に出て、紅葉を楽しむことが好きです。あなたの町でも紅葉する木はありますか。ポーポキのように、散歩しながら楽しむことができますか。

Popoki's Hot News!



NEW

ロニー・アレキサンダー編著

『ポーポキのマスクギャラリー ～コロナ禍でアートを通して日常の安心を探る～』神戸大学出版会 2022.2.22 発行



ポ一年会！12月17日に決定！

詳細については8ページをご参照。

「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だち東ささにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。
「いつでも帰れる家があって、ふるさとがあって、私を待ってる家族がいることに私は平和を感じます。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



Popoki's Video Gallery

ポーポキの動画をぜひみてください！

ポーポキのマスクギャラリー～新型コロナウイルス感染拡大を生きる
<https://www.youtube.com/watch?v=BjT1ZjVUsm8&t=3s>

ポーポキのおうち
<https://www.youtube.com/watch?v=l8OCzg64oH8>

ポーポキと一緒に平和のパクパクをつくりましょう！
<https://youtu.be/FoT4pCWWRnQ>

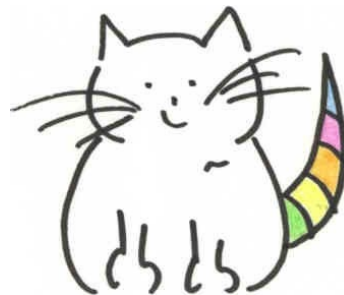
ポーポキのピースマップ
<https://youtu.be/4t4PFV-dRBg>

ロニー・アレキサンダーの最終講義（ポーポキではないが、お許してください）
「大きな夢と小さな島々～30年間でふりかえって、そして明日へ」
<https://youtu.be/trbxJSP7-CY>

日本平和学会 関西地区研究会主催 <ウクライナ戦争への視座——平和学から考える> 「私たちが見ていないもの、そしてモヤモヤ感」（2022.5.22）
語り手 安齋郁郎、ロニー・アレキサンダー
聞き手 奥本京子、遠藤あかり
<https://www.psaj.org/chiku-kansai/> からユーチューブへ

「ウクライナ問題ー消えないモヤモヤ感」（2022.11.5）
戦争をさせない石川の会 <http://nomorewar-ishikawa.com>

英語だけど、ESPN
のミニシリーズ
'Title IX'も観て！
ろにゃんは第2部
に登場！



さとにゃんとポーポキの「健康と平和」ワークショップ

べさにゃん

10月22日に「健康って、なに色？」という12回目の平和と健康についてのワベさにゃんワークショップが開催されました。今年もどのように新型コロナウイルスと共に生きているかについて話し合いました。Zoomで開催されたものの、皆が好きなさとにゃんを応援するために集まってきたので、多くの人にとって再会となりました。沢山の「初めまして」や「大きくなったね」と、古にゃんのと新にゃんの混合でした。

兵庫医科大学 地域交流プロジェクト

12th Peace and Health
Workshop @ HMU



ポーポキ・ピース・ネットワーク

第12回ワークショップ 「健康って、なに色？」

Workshop: "What color is Health?" @ Hyogo Medical University

あなたも 平和のねこと一緒に
健康と平和について

感じたり、考えたりしませんか？

平和って何だろう？健康って何だろう？

普段何気なく聞いたり見たり感じたりしていること。

ねこのポーポキと一緒に平和や健康の観点から暮らしを見直してみませんか？

今回はオンラインだけど、みんなで一緒に考えてみよう！！



いつものように、はじめはポガをしましたが、今回はいつもとはちょっと違いました。マスクをかけている間、顔の筋肉をあまり動かしていないと言われているので、今回は口のストレッチをしました。このような小さなことは怠けやすいので、私たちが自らを大事にする方法をちゃんと考えなければならないでしょう。これらの考えを探めるために、私たちが普段、健康のためにしていること示す地図を書きました。これを通じて、身体的な健康だけではなく、心理的、感情的、精神的な健康のためにも、何をしているかを考えることができました。これに基づいて、コロナ禍が発生してから、どのようにそれぞれの方法が変わってきたかについて話し合いました。

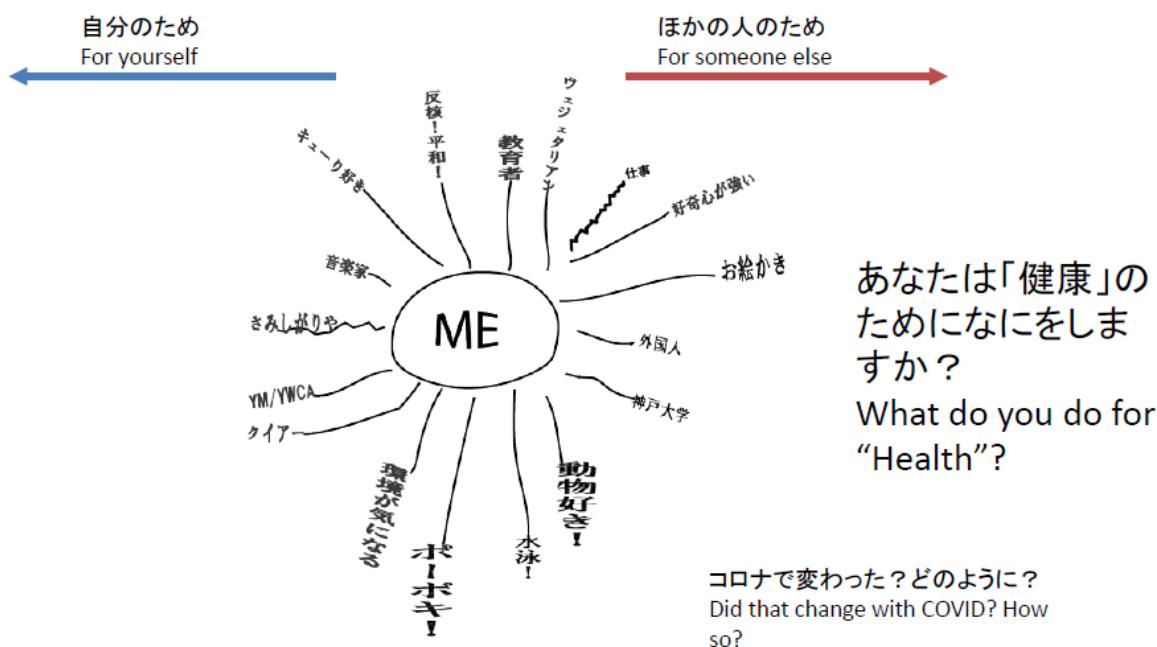
次に、世界中からの屋内と屋外の写真を見て、相違のある状況において、マスクの使用などについて話し合うことをしました。参加者は、自分がいつ、どこでマスクをつけているかを共有し、それについての意見のみならず、周りの人のマスクをつける習慣についても話し合いました。様々な国からの参加者がいたので、各国の政府が取っている対策や推進していることについて話すことができ、お互いにとって勉強になりました。さらに、

政府の政策や取り組みは、どの程度自分自身の行動に影響を与えているかについても話し合いました。

ご存じの通り、マスク以外に、薬やアルコールなど、感染防止のために、様々な対策があります。その中から一つだけを選ぶよう指示されました。一番人気なのは明らかではなかったのですが、皆は、完全な対策がないことと、他人が自分と違う対策を選ぶ理由があることを理解することができました。やらにゃんは、一人でも周りの人の健康のために責任を取ろうと公言したことは他の参加者の心に響いたようです。

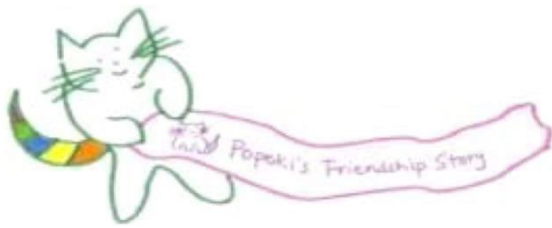
それから、真面目な勉強もちょっとしました。例えば、複数のウイルスの感染防止に加え、細菌や花粉に対して、マスク着用の有効性を学びました。なお、マスクの穴は、ウイルスを通せるくらいな大きさであっても、コロナウイルスの飛び散り方を考慮して、マスクは有効な手段だと考えられています。さらに、石けんやハンドソープを使った手洗いや、テーブルなどを拭くにはアルコールより漂白剤や熱水を使ったほうが効果的だと教えてもらいました。それから、日本においての子供のワクチン接種のスケジュールを見せてもらいました。そんなにたくさん！2020年以降に開発された新型コロナウイルスのワクチンも沢山あります。この中、大半が日本でまだ入手出来ませんが、それにも関わらず、人口にあたり、世界のワクチン接種状況のランキングでは、日本は二位であり、新型コロナウイルスによる死亡率もかなり低いです。

最後に、バカンスにどこに、誰と一緒にいきたいか、どのような準備をするかについて楽しく話し合いました。様々な理由で、ポーポキの皆にゃんは旅行するのがもちろん難しいです。長い間全然旅行していない人もいます。しかし、久しぶりに「お元気ですか」と聞いて、聞かれることの大切さは、今年のワークショップで明らかになりました。再会まで、お元気で。



2021/11/20

7



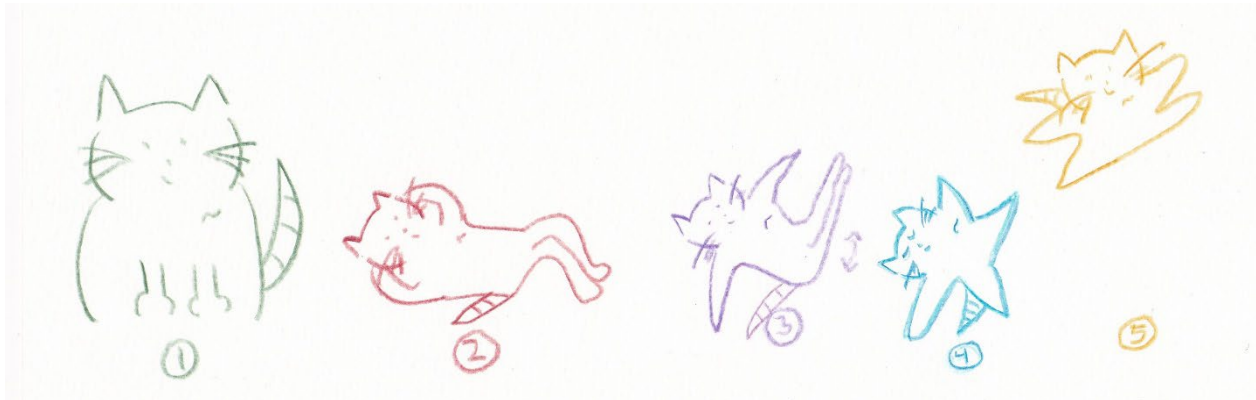
Popoki's Interview

*最近は、いろいろな場所でパンデミックを体験しているポーポキの友だちに状況を聞くことにしています。今回、やらにゃんはお祖母さんをインタビューしました！

* 今月はお休みをさせていただきます。また12月にお会いしましょう！

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 175 今月のテーマは、腹筋！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、あお向けになりましょう。腰を固定し、膝を曲げた状態で指を耳に置くぐらいな感じで頭や肩をあげて、クランチ！10回の3セットはいかがでしょう？
 3. 次は、手を広げて、足をまっすぐ天井に向けてあげましょう。腰を固定したまま、ゆっくりと左へタッチ、真ん中に戻って、右へタッチ。床に足をつけないでタッチだけにしましょう。10回の3セット？4セットでも良いですよ！
 4. あああ、疲れた！休憩をしましょう。
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？ 次回のポー会:2022年12月7日 Zoom 18:00~*

***リンクが毎回同じ。必要な方はメールでポーポキに聞いてくださいね

12.17 ポー年会 18:00~ オンライン. 準備:考える (&持ってくる?):自分の健康+場所+食べ物
(平和な食べ物はどこで食べる?健康との関係は?平和な場所で食べるもの?健康との関係は…
など.)

2023.2.1 午後 大船渡市立北小学校のみなさんとWS

2023.3.5 びっくり箱イベント

ポーポキの友だちからのおすすめの本等



- ・『りょうくんのすずむみちー学校に行けない君たちへー』作・絵 かねしろ みゆき、学研 2019年。
- ・大槌町『生きる証 岩手県大槌町 東日本大震災記録誌』監修:大槌町教育委員会ほか。2019.7
- ・アレキサンダー ロニー&桂木聡子 (2020) 「被災体験後「今」を表現する:絵から読み取れる被災ナラティブ」『国際協力論集』27(2)、17-32 (2020年1月発行) http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail

全編日英対照



**令和4年3月
発売!!**

ポーポキのマスクギャラリー

**A5判・192ページ
定価 2,420円(税別)**

神戸大学出版会

ポーポキの マスクギャラリー

～コロナ禍でアートを通して
日常の安心を探る～

編者・絵 **ロニー・アレキサンダー**
Written, edited and illustrated by Ronni Alexander

アマゾンで買えるよ!

【本書の内容】

<p>前書き</p> <p>第一部:ことばの旅 「ことばの旅」への誘い</p> <p>第二部:「お絵描き」の旅</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 物語を描くということ ② くちゃぐちゃ ③ 色たち ④ いかなきや(桂木聡子) ⑤ 2021.1.17 に想う ⑥ 乱れ ⑦ プール <p>第三部:「ふりかえり」の旅 「ふりかえり」の旅</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ポーポキのマスクギャラリーー 基礎となる日本人の伝統的思考法を考えるー(高田哲) Popoki's Mask Galleryー A consideration based on traditional Japanese ways of thinking (Takada Satoshi) ② 対談: アナ・アガサンゲロウとロニー・アレキサンダー(世界国際関係学会年次研究大会2021年) Conversation: Anna Agathangelou and Ronni Alexander (International Studies Association Annual Conference 2021) ③ ポーポキの旅: ポーポキのマスクギャラリーができるまでの道のり(ロニー・アレキサンダー) Popoki's Journey: How Popoki's mask gallery came to be (Ronni Alexander) <p>後書き: 新たな旅 今度はあなた</p>	<p>Prologue</p> <p>Part I: A Word Journey An Invitation to take a Word Journey</p> <p>Part II: A Drawing Journey The Meaning of Drawing Stories All Messed Up Colors I've Gotta Go (Katsuragi Satoko) Thoughts on 17 January 2021 Confusion Pool</p> <p>Part III: A Journey of Reflection A Journey of Reflection</p>	 <p style="font-size: small;">www.s.11 Illustration: KATSUMI SATOKO, 17th January 2021. Drawing: Ronni Alexander All, drawing and painting made on 17th Jan 2021. The Popoki Mask Gallery created on 17 Jan 2021</p>  <p style="font-size: small;">www.d.11 Illustration: ANNA AGATHANGELOU, 17th January 2021. Drawing: Ronni Alexander All, drawing and painting made on 17th Jan 2021.</p> <p style="font-size: x-small; text-align: right;">本より抜粋</p>
---	---	---



発行: 神戸大学出版会 <https://www.org.kobe-u.ac.jp/kupress/>
神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学社会科学系図書館内 Tel. 078-803-7315 Fax. 078-361-7320

発売: 神戸新聞総合出版センター
神戸市中央区東川崎町1丁目5-7 神戸情報文化ビル9F Tel. 078-362-7138 Fax. 078-361-7552

- ロニー、アレキサンダー、桂木、聡子、勅使河原、君江 「被災者の多様で個別的な安心についてお絵描きを通して思索する活動」 『神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要』15(2) 53-65 2022-03-30 JaLCDOI 10.24546/81013202
- アレキサンダー&桂木 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」国際協力論集 27(2) 2020.2 pp.17-32. JaLCDOI 10.24546/81011967
- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのみど52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア37団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いた―“人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO:66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの(連載) とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色?ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 『「ポーポキ、友情って、なに色?」』『私のいち押し』奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通 信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と〜」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色?ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp FAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会「エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)



私にとってポーポキ

いくつかの大学が参加している「ウォーキングチャレンジ」にチームポーポキが参加しています！
2000人が毎日最低8000歩を1か月歩き続けると、月まで歩ける！
今回の「私にとってのポーポキ」は、ちーむポーポキのメンバーら一言ずつにしました。

とうわにゃん

昨日の数字を目指して今日もがんばって歩きたい！



もりにゃん

親子で参加しています。日々、どんな時に歩数が植えているのかよくわかるようになりました。例えば、子どもの送り迎えや買い物、リハビリの日、などです。月の初めは遠方から母が遊びにきてくれていたので、たくさん歩きました。日記とは違う、行動の記録も面白いものだと知りました。

とうにゃん&もりにゃん

とうわにゃんは、歩行器を使って歩く4歳児です。でも、このチャレンジに参加し始めた頃から、歩行器を外して歩く練習もするようになりました。歩行器が取れたことで、幼稚園のお友達と手をつないで歩くこともできるようになりました。見送りをしていて、小さな一歩がとても大きな一歩だと感じられる場面でした。ウォーキングチャレンジのそれぞれの一歩にもきっといろいろな一歩があるのだろうと想像します。

さとにゃん

さとにゃんは、歩くのが好きです。

でも、歩くことが目的ではなく、歩いて色々なものを見たり、色々なところに言ったりするのが好きです。ゆっくり歩くと、同じようにゆっくり歩いている人の景色が見えます。

落ち葉の色づいた道を見たり、青い空を見たり、廊下をお喋りしながら歩く学生を見たり。目に映るものが全て好きです。

ののにゃん:

月到着うれしい😊

るにゃん

いつも歩いているけれど、今回はみんなで共通の目標に向かって歩いているから楽しいです。今日はもう良いと思っても、あと1歩しようという気持ちになります。お月様を見るのが好きです。月までチャレンジで歩いてから、チームポーポキで地球まで歩いて帰ってからずっと一緒に歩きたいです。

ポーポキ通信はお楽しみいただきましたか



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東

日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10ヵ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なりたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへ お問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。

